

区立施設マネジメント計画に関する ワークショップ

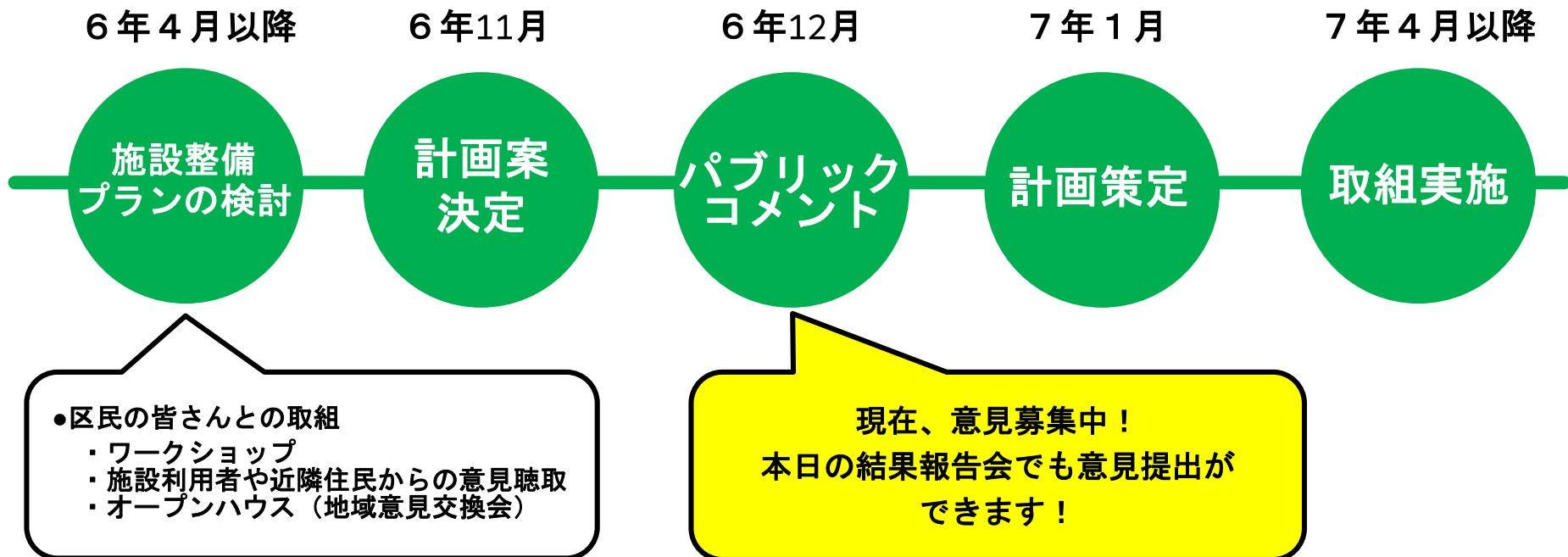
～西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討～
(結果報告会)

令和6年12月21日(土)
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

現在の状況

ワークショップに参加された皆さんと一緒に検討してきた内容や8月に実施した地域意見交換会、施設利用者や関係団体等からいただいた意見を踏まえ、**区が計画案を作成しました。**

現在は作成した計画案に対する**意見募集(パブリックコメント)を実施(12月3日~1月6日)**しており、意見募集後には、いただいた意見に基づき修正が必要か精査を行った上で、最終的には**1月末に計画を決定**します。



本日(結果報告会)のプログラム

時間(予定)	内容
10:00~10:05	本日のプログラムの説明等
10:05~10:20	区からの説明 ○ 決定したプランの内容と決定する際のポイント ○ プランの決定に当たって重視したポイント ○ プランを決定する際の考え方
10:20~10:25	全体での質疑応答
10:25~11:00	意見交換 ○プランの内容やプランを決定する際の考え方に対する意見、疑問点等
11:00~11:05	区からのあいさつ

※時間は会の進捗により変更となる場合があります。

区からの説明

- 決定したプランの内容と決定する際のポイント
- プランの決定に当たって重視したポイント
- プランを決定する際の考え方

決定したプランの内容

【プラン②】

(プランのイメージ(更新後))



- ①西宮中学校を改築するとともに、新たに(仮称)コミュニティふらっと宮前を西宮中学校に併設します。
ゆうゆう大宮前館は(仮称)コミュニティふらっと宮前に機能継承し、利用者の活動場所を確保します。
- ②宮前図書館とさざんかステップアップ教室「宮前教室」を現地改築し、引き続き併設します。
改築工事期間中、宮前図書館は休館し、さざんかステップアップ教室「宮前教室」は旧富士見丘小学校に仮移転することを視野に検討します。
- ③大宮前保育園は現地改築し、バリアフリー対応や障害児保育に必要な諸室等の整備を行います。
改築工事期間中、遊び場119番(宮前二丁目、南荻窪図書館そば)に仮移転し運営を継続します。
- ④宮前児童館は現在の用地に存置します。

プランを決定する際のポイント

ワークショップで整理したキーワード「それぞれの年齢に応じた子どものための場」、
「多世代との交流」を踏まえ、以下のポイントに基づきプランを決定しました。

○西宮中学校

中学生の学びの場を第一に考え、学校教育に必要となる諸室や機能の充実、現在と同等あるいは同等以上の校庭面積の確保を前提に、学びのプラットフォームとして地域の拠点となる開かれた学校として整備すること

○さざんかステップアップ教室「宮前教室」

通室する児童・生徒の環境を適切に確保すること

○宮前図書館

延床面積減少による影響を最小限にとどめ、併設施設との相乗効果が期待できる施設とすること

○ゆうゆう大宮前館

利用者の活動場所を確保すること

○大宮前保育園

改築に当たり、園舎や園庭の必要面積を確保するとともに、園児・保護者への影響を考慮して移転時期を設定するなど、保育環境の維持・向上を図ること

今後のスケジュール(予定)

用地	現行	整備後	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度	令和14 (2032) 年度	令和15 (2033) 年度	令和16 (2034) 年度		
A	西宮 中学校	西宮 中学校 + (仮称) コミュニ ティ ふらっと 宮前	(中学校)現校舎で運営			建物配置等により、仮設校舎の有無やスケジュール等が変動します				中学校 +コミュニティふらっと開設				
			● 改築 検討 懇談会	● 基本設計・実施設計 ・解体設計	● 解体工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	● 新校舎工事	
C	大宮前 保育園 + ゆうゆう 大宮前館	大宮前 保育園	(保育園+ゆうゆう館)現施設で運営									(保育園)仮移転先で運営		新園舎
			● 基本設計・実施設計	● 解体設計	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 建設工事	● 建設工事
B	宮前 図書館 + さざんか ステップ アップ 教室 「宮前教室」	宮前 図書館 + さざんか ステップ アップ 教室 「宮前教室」	(図書館+さざんか教室)現施設で運営						(図書館)休館			(図書館+さざんか教室) 新施設で運営		
			● 基本設計・実施設計	● 解体設計	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 解体工事	● 建築工事	● 建築工事

■…今年度実施する計画の一部修正に反映

※宮前児童館は、現在地に当面存置します。
 ※スケジュールは、現時点における予定であり、今後の情勢等によって変更となる場合があります。 7

プランの決定に当たって重視したポイント

地域の実情に応じた解決策

区民ニーズはもとより、施設の設置状況・利用人数、利用者の利便性、施設を建て替えた場合の課題など、施設を取り巻くさまざまな状況やこの間聴取してきた区民意見などを踏まえながら、地域の実情に応じた解決策を検討しました。

誰もが使いやすい施設づくり

施設利用者・地域住民の視点を踏まえつつ、将来世代のニーズも考慮しながら、地域・区全体を俯瞰して、施設の配置のあり方を考えました。
また、複合化・併設について、施設の相性や期待される相乗効果などから検討しました。

必要な機能・環境の確保

保育園におけるバリアフリー対応、学校における多目的室の確保など、保育・学校教育環境をはじめ、図書館・さざんかステップアップ教室・ケア24などの各施設に必要な機能・環境を確保していきます。

さらなる高齢化の進展を見据えた 集会施設の整備

コミュニティふらっと・ゆうゆう館の双方が、多世代交流を含むさまざまな活動の機会を提供するとともに、より多くの高齢者にとって利用しやすい施設となるよう、高齢者団体優先枠の見直しなどを検討・具体化します。

プランを決定する際の考え方

■西宮中学校の改築と集会施設の整備について①

- ワークショップでは、現行の西宮中学校の校庭は比較的狭く、より広い校庭を確保する必要があるという観点や、少人数、学年単位等、今求められている教育環境の充実やセキュリティの確保などの観点から、学校を単独施設として整備すべきという意見を多数いただきました。一方で、その場合であっても地域に開いていくという仕組みも必要であるといった意見や、学校の面積を十分に確保できるのであれば他の施設と併設していく可能性もあるのではないかといった意見もありました。
- 教育委員会では、「杉並区教育ビジョン2022推進計画」で示すとおり、学校等の教育施設を、区民が生涯にわたって豊かに学ぶことができる施設とするとともに、人が交わりつながる基盤となる「学びのプラットフォーム」として整備していくことを掲げています。また、学校施設の改築に当たっては、何よりも子どもたちのための教育施設であることを大切にした上で、地域の拠点となる開かれた学校として多くの区民の施設需要に応えるとともに、将来の児童・生徒数の減少を見据えた、柔軟性のある施設づくりが求められているという課題認識を持っており、その観点からも検討しました。
- 併設施設の検討に当たり、宮前地域には、多世代が利用できる集会施設がないことから、町会や防災防犯会、青少年育成委員会等は、さざんか宮前教室のオープンスペース等を、通室児童・生徒の帰宅後等、さざんか宮前教室として使用していない時間に会議等で利用していること、及び、大宮前保育園の改築に伴い、ゆうゆう大宮前館を現地に存置することができないことから、学校内に集会機能を設けることについて考えました。

プランを決定する際の考え方

■西宮中学校の改築と集会施設の整備について②

- 中学校を単独改築した場合、中学校内に学校施設として複数の集会室を設けることが考えられますが、使用時間を学校が使わない夜間や休日に限定する場合は、日中の活動が中心となるゆうゆう館利用者の活動場所としての活用は困難となります。また、集会室の貸し出しや清掃等に伴う中学校の管理負担の増大や、集会室利用者が学校内に入ることによるセキュリティの確保が課題となります。さらに、集会室を貸し室使用することが中心になるため、集会施設の運営事業者が実施している各種講座や多世代交流イベントの実施等は困難となり、集会機能を設けることの効果は限定的となります。
- 次に、中学校に集会施設を併設した場合には、教育活動や部活動、地域ボランティアによる中学生向けの活動における活用や、災害発生時の震災救援所機能の向上等、施設が有効活用されるとともに、中学生や地域住民への幅広い相乗効果が見込まれます。また、中学校の管理負担の軽減や、集会施設の運営事業者によるイベント実施等が期待できるため、中学校を単独改築した場合と比べ、より一層、地域の拠点となる開かれた学校として整備することができます。また、対象地域の施設全体の配置を考えた場合、さざんか宮前教室について、後述の課題を踏まえた、対象エリア内かつ通室児童・生徒にとってメリットが多い図書館との併設施設として整備することができます。
- 以上のことから、中学校に集会施設を併設することとします。

プランを決定する際の考え方

■西宮中学校の改築と集会施設の整備について③

- この集会施設では、ゆうゆう大宮前館を機能継承し、利用者の活動場所を確保していきますが、前述のとおり、当該地域に多世代が利用できる集会施設が無いことや、中学生をはじめとした幅広い世代への効果が見込まれることを踏まえ、多世代型の集会施設「コミュニティふらっと」として整備し、地域の学びと交流の拠点となることを目指していきます。
- この場合において、ゆうゆう大宮前館は、西宮中学校及びコミュニティふらっとが開設されるまで存置されることから、改築工事期間中に仮移転をすることなく、活動を継続することができます。
- なお、学校教育に必要な諸室や機能の充実、現在と同等あるいは同等以上の校庭面積の確保については、中学校を単独改築した場合と同様に行っていきます。また、コミュニティふらっと利用者が中学校の区画に許可なく立ち入れないようにする、中学生のプライバシーに配慮して建物配置を工夫する等、ワークショップ等における懸念点は、令和7年度(2025年度)以降に実施する基本設計等に生かしていきます。

プランを決定する際の考え方

■宮前図書館とさざんかステップアップ教室「宮前教室」について①

- 現在の宮前図書館の延床面積は1,974㎡ですが、現行法では現在の敷地に1,691㎡以上の建物を建てることできないため、仮に図書館を単独改築した場合でも、延床面積を約300㎡縮小する必要があります。そのため、図書館の延床面積の減少による影響と他施設との併設による効果から検討を行いました。
- 宮前図書館と集会施設を複合化した場合には、図書館の延床面積は1,000㎡程度となり、現在と比べ半分程度の規模となります。一方で、図書館とコミュニティふらっとを複合化することにより、スペースの有効活用だけでなく多世代との交流や図書館と集会施設の一体利用等、様々な効果が期待でき、ワークショップ等の参加者からも支持する声もいただきました。
- 次に、現行と同様に、宮前図書館とさざんか宮前教室を併設した場合には、図書館の延床面積は約1,300㎡確保することができ、併設による縮小幅を最小限に抑えることができます。

プランを決定する際の考え方

■宮前図書館とさざんかステップアップ教室「宮前教室」について②

- さざんかステップアップ教室は区内に4所設置していますが、各教室によって時間割や活動内容に特色があり、通室先や通室頻度、通室時間は本人の状態や希望に合わせて決めることができます。ワークショップでは、さざんか宮前教室を西宮中学校に隣接する地点(現在の宮前児童館用地)に配置するプランも検討しましたが、さざんか宮前教室に通室する児童・生徒の状況を踏まえ、日常的に中学校の様子が見えることで、通室児童・生徒への精神的な負担となる恐れがあり懸念する意見もありました。また、現在4所のうち2所(今後移転予定のものを含む)は学校と隣接した環境に設置しており、通室児童・生徒の状況に合わせた支援を行うという観点からも、様々な選択肢がある方が望ましいと考えます。なお、対象エリア外への移転についても検討しましたが、現在と同様の区南西部(井の頭線沿線)には、施設の規模や通室児童・生徒にとってのメリット等の観点から、現在よりも適地となる場所を見出すことはできませんでした。
- 一方で、現行どおり、さざんか宮前教室を図書館と併設した場合には、通室児童・生徒にとって、落ち着いた環境のもと学習や生活を行えることや、調べ学習など主体性を引き出す学習につなげやすいこと、職場体験の実施等、他者との交流や自己有用感を生むことができること等、単独施設あるいは他施設との併設では得られない様々な効果が見込まれます。また、さざんかステップアップ教室(4所)の通室児童・生徒や保護者にアンケート調査を行ったところ、図書館との併設を希望する意見が多数寄せられました。
- 以上のことから、宮前図書館とさざんかステップアップ教室「宮前教室」を併設施設として整備することとします。なお、さざんか宮前教室の改築工事期間中については、旧富士見丘小学校跡地への仮移転を視野に検討を進めていきます。

プランを決定する際の考え方

■大宮前保育園について

- 大宮前保育園は、改築に当たり、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備する必要があることから、延床面積は現在よりも増加します。
- 現在の敷地内に建てられる建物の大きさを再精査しましたが、保育園とゆうゆう館を含めた他の施設を併設することは不可能であったことから、大宮前保育園は現地で単独施設として改築することとしました。
- なお、改築工事期間中も運営を継続するため、遊び場119番(宮前二丁目・南荻窪図書館そば)に仮設園舎を整備し、仮移転することとしますが、現在の園舎から直線距離で約1.6kmあることから、現在の在園児とその保護者への影響等を考慮し、令和13年度(2031年度)の移転を予定しています。

■宮前児童館について

- 区立児童館については、令和6年度(2024年度)に策定する杉並区子どもの居場所づくり基本方針(案)に基づき、すべての児童館を存置することに伴い、当面、現在地で運営していきます。

全体での質疑応答(5分)

意見交換

(テーマ)

○プランの内容やプランを決定する際の考え方に
対する意見、疑問点等

(35分)

区からのあいさつ